



# AA日本ニューズレター

AA 日本ゼネラル・サービス・ミーティング・文書委員会  
TEL03-3590-5377 171 東京都豊島区池袋 2-23-3 橋ビル 9F

100-91  
東京都中央郵便局  
私書箱 916

## No.28

## 廃刊にしますか？ AA九州発行のピンチ

### 創刊の経過

『AA九州』の創刊号が発行されたのは1990年1月です。しかしながら、今年の4月にやっと7を何とかして発行したに過ぎないのです。定期発行を目指した筈なのですが予想に反して、残念ながら平均すると2カ月半に1回の割りの発行に過ぎないのです。そもそも創刊当時、九州各地には「まだAAの名前すら知らないアルコール中毒者」に広く回復のメッセージが届くことを願った「55長崎」「諫早ニュース」「手取ニュース」「かごしまニュース」という、それぞれの地区独自の広報の雑誌がありました。「かごしまニュース」は87年5月創刊され、「55長崎」は88年11月に刊行されました。残りの2紙は89年に次々に誕生したものです。それぞれの地区の情報を掲載しそれなりに親しまれていました。

89年10月、長崎に地域評議員、地区幹事代議員、オブザーバーを含めて26名が集合して、第1回九州地域集会を開催しました。九州のメンバーが同じテーブルにつき、同一の問題を初めて話し合ったのでした。その席で、九州・沖縄地域の情報を掲載した総合機関紙を発行しようじゃないかという提案があり、満場一致で採択されました。

機関紙発行に伴う各地区の経費の負担軽減と、点から線へのネットワーク作りが一本化の動機でした。同じ九州地域にいながら、他の地区のことは全然知らない、機関紙発行に献金の大部分を消費するような状況だったのです。

### 《あおしんごう》《海風だより》の影響

「かごしまニュース」が発行されるまでは、BOX916の前身である「7956」が、九州地域のメンバーにとっては唯一のAAの情報雑誌であり、関係者や今苦しんでいるアルコール中毒者にメッセージを伝えるための唯一の広報（伝達）紙でした。

個人個人の12ステップを文章で語り、AAの12の伝統を全国の仲間から具体的に教えてもらい、それをグループに生かしていったのが地方のグルー

プだったのです。自分の口で伝えられない部分は、「7956」を関係者に手渡すことで間接的にAAを理解していただく。その行動の中で、自分流のメッセージの輪を広げていったのでした。

今年の2月に関西の《あおしんごう》の発行停止の案内が届いた。発行継続の努力を随分されたと思うのですが、大変に残念に思う次第です。

《あおしんごう》は地方でも機関紙を発行する必要性と継続して発行する夢を常に与えてくれたものです。地方で機関紙を発行するものには希望の雑誌でもあったのです。AA九州の前身の4紙に多大の影響を与えたのが《あおしんごう》であり《海風だより》だった。何故地方紙が必要か？ メッセージとは？ アノニミティーとは？ 常に地方に問題を提供してくれた。今、思い返すと無断で記事とイラストを掲載し、お叱りを受けた経験が、その後、各編集者に発行の責任感を植え付けた。独立採算の基礎作りにも貢献した。

### 現在のAA九州

現在、毎号500～600部発行しています。大部分は地域内で利用していますが、一部は九州外のメンバー、関係者にも郵送しています。（ご注文下されば全国どこにでも郵送します）経費的には印刷費に3～4万円、郵送費に5千円程費やしています。完全な独立採算制を取り、九州セントラルオフィスの会計及び地域委員会の会計からも独立しています。お陰様で、負債を抱えての借金発行でしたが、現在は発行、郵送に財政的負担を心配しないで済むようになりました。定価は1部200円ですが、それぞれの地区の実情に合わせた価格体系を独自に設定しています。必要と認めた場合やグループに負担がかかるようであれば無料で必要な部数を配布しています。

発行に問題が無いと言われると、深刻な問題を抱えています。第一に原稿不足が日常茶飯事で、編集者の頭を常に痛める点。地域全体の機関紙だから原稿は心配ないと楽観していたのですが、現実には

地区単位で発行しているときよりも原稿が集まらない状態です。それともう一点、(製本、郵送のスタッフは多いが)編集スタッフがなかなか育たない点。現在経験を買われて個人が発行している状態が続いています。そのためにどうしても独りよがりの編集になる傾向を感じます。精神的負担から何度か廃刊に追い詰められましたが、ミーティング会場さえない離島や、地方の仲間たちからの『今度の発行を又楽しみにしています』慰めにも近い励ましの言葉で何とか続いています。問題点を抱えたAA九州ではあるが、今年の夏には広報委員会も設置されるので少しずつ解消されることと思います。

医療関係者、保健、福祉の行政関係者、家族、聖

職者の原稿を掲載するほかに、地方としてのユニークな独自の広報機関紙として成長することを期待する。地方には地方としての情報が必要だし、伝達の手段としても広報紙はこれからも必要性の比重が高いと思います。

雑誌 AA九州 に関するお問い合わせ  
AA九州セントラルオフィス内  
AA九州 地域広報準備室  
〒892 鹿児島市祇園之洲町12  
セジュール祇園之洲203号  
☎0992-48-0057  
ご意見原稿をお待ち致します。

## 9 1 関東甲信越春季ラウンドアップを省みて

9 1 AA 関東甲信越春季ラウンドアップ実行委員長



皆様のご支援により恒例の春季ラウンドアップを、千葉県九十九里国民宿舎において“AAでリフレッシュ”のメインテーマで開催することができました。梅雨入り前と地域的なこともあって、今まで試みたことがない地引き網を計画しましたが、雨が降ったり、海が時化たりで、予定より1日遅れで実行してはみたものの期待はずれで終わったり、外でのレクリエーションが中止になったり、屋外でのフェロシップが十分にできなかったことが残念と言えはいるかも。しかしその反面、屋内での時間を充分に取ることができました。

種々のソーバーの人達の参加で、その姿を見たり聞いたりして気付き、種々のミーティングに参加し、自分を語り、仲間との交流を深められたことと思います。関係者、家族の方(開催地域的に千葉県の方が多く参加)との話し合いは大変有意義であったと喜んでおります。今回のラウンドアップは午後3時に受付開始、夕食を取りオープンセレモニータイム、二日目は午前中はビギナーズ、そしてディスカッションミーティング、関係者とのミーティング、女性ミーティング、ヤングミーティング。午後はフェロシップタイムを主体にして、ビデオタイムなどを設けました。その夜はおなじみのラッフルタイムを8:00~10:00ができ

た。雨が降ったり、計画が流れたり、良いことと思われることも、悪いことと見受けられることもすべて神の計画であると受け入れることで、心の穏やかさが与えられました。また、おもしろくない感情をそのままにして、お互いに背を向けあっては、今日の今という時間も不快な気持ちになってしまいます。・話合って理解しあい、わだかまりを明日まで持ち越さないことと、相手を変えようとせず、今の喜び、苦しみを分かち合うことが、心穏やかに楽しく過ごすことができるのではないかと痛切に感じました。皆様のご協力により無事終わることができました。ありがとうございました。

### 有料頒布品のお支払い についてのお願い

JSOでは、図書及びAAグッズは原則として代金引き換えの方法を取って来ました。しかし、遠隔地の場合、注文と同時に品物を発送し、到着後に代金を振り込み願う方法もとって参りました。しかし、その回収率は予想を越えて非常に悪く『未収金』という勘定科目を立てて効率的に回収を図ることと致しました。BOX916の紙面でもお願いしておりますが、どうか代金の支払いにつきましては迅速な対応をいただきますようくれぐれもお願い致します。

JSO

## A A プログラムの希望

下記のミーティングハンドブックにはビッグブックの第3章の一部が転載され、『もう少しアルコール中毒について』私たちは学ぶことができます。次に第5章では『どうするのか』、つまり、どうすればアルコール中毒から回復し、うまくゆくのか、ということで回復のための12のステップが紹介されています。そしてステップを実践したら何が待ち受けているのか、という部分がビッグブックの157ページの3行目以下で、

この日本語ペラペラのアメリカ人メンバーによると、彼の国では、ミーティングが始まる前に、第5章『どうするのか』に続いて第6章のこの部分をA Aプログラムの希望として読み上げるそうです。オーストラリアのA Aでも、やはりA Aの希望として、この部分が20周年記念誌に掲載されていました。ビッグブックをちょっと改訳して、以下に紹介したいと思います。

自分たちの成長のためのこのような段階を、苦労をいとわずやっていくなら、半ばまで進むか進まないうちに、驚きをおぼえるだろう。

新たな自由や新たな希望が分かってくる。

過去を悔やむことも、過去にふたをして閉じ込めてしまおうという気持ちもなくなる。

心の落ち着きという言葉の意味をつかみ、平和を理解できるようになる。

どれほど自分が落ちるところまで落ちたとしても、その経験がどんなにほかの人達に役立っているかが分かってくる。

自分を役立たずと思う気持ちや、自己れんびんの感じが消えてくる。

利己的なものへの関心が薄れ、仲間を思いやる気持ちが大きくなっていく。

身勝手さが抜けてゆく。

生きることに対する自分の全面的な態度や見方が変わってゆく。

ひとに対する恐れや経済面での不安感が消えてゆく。

昔はいたずらにあせるばかりだったことも、直感的にどうやって処理したらよいか分かるように

なる。

私たちにはできなかったことを、神は私たちに代わってやって下さっていることが、突然分かってくる。

これらは途方もない望みだろうか。わたしたちはそうは思わない。わたしたちの間では、時には急速に、時にはゆっくりと、これらのことが実現している。そのための行動を取ってゆくなら、常に実現していくものである。(ビッグブック、P.157,3行目からP.158,1行目まで)

A A ワールケ - ビス社の許可のもとに転録。

§ こんなこと嘘だと思う方は、ステップを実践して確かめてみて下さい。



## おおきな活字の

### ハンドブックはいかがですか

J S Oには、普通のハンドブックの4倍ほどの大きさの活字で作ったハンドブックがあります。仲間の話などでハンドブックをコピーで拡大して使っているということも開きますが、これはそれとは違い、アメリカ人の仲間(と言っても日本語ペラペラ)が全部の漢字にルビをふって特別にこしらえたもので

す。ただし、内容は序文と3章、5章だけ。残念なことに9ページ以降は含まれておりません。当面、印刷等をして配布する予定はございませんが、ご希望の方はJ S Oまでお申し出ください。コピー代の実費だけでお送り致します。

## 地域の図書館にAAの図書を寄贈しよう

東京郊外のあるグループで、その地域の市立図書館にビッグブックを寄贈することを目論んだ。新しいタイプのメッセージであった。ところが出向いた図書館の館長さんは『多くの団体、個人の書籍の寄贈は受けかねるし、市の予算、市民の蔵書要望等で計画的に行われているので』と丁重に辞退されてしまったため途方に暮れたようだ。

その後、世話になった保護課長さんから庶務課長さんに紹介状がわたり、図書館の蔵書の選考委員会にかけていただき、結局、中央図書館、分館、移動図書館とすべての図書館においてもらうことがかなえられたという。図書館の利用カードを調べたところ約4年間で42回の利用がされていたという。

最近、J S Oでも図書館のアルコール問題の図書からJ S Oを知り、AAのことを知ったという仲間や、専門家集団の話を良く耳にする。十年前には考えられなかったことである。J S Oでは、日本図書館協会発行の「日本の図書館・統計と名簿」(1990年版)

を用意し、各地域のすべての図書館一覧表を提供できるようにしている。あるときAA浜松グループが、日常的なメッセージの枠を超える提案はないかとJ S Oに問い合わせた。早速静岡県内の図書館一覧表を送って、AA図書の寄贈キャンペーンを提案した。市の広報課や警察関係、医療関係と廻り浜松市図書館や、静岡大学工学部にビッグブックや、「AA成年に達する」を一冊ずつ寄贈したという。

関東地域文書委員会では、板橋区の図書館への寄贈を試み7図書館に寄贈を終了した。寄贈の簡単なマニュアルのようなものを作成してみるという。

全国のグループや地区・地域の仲間たちに呼びかけたいと思う。あなたの地域の図書館にAAの図書を寄贈することを検討してほしい。資料はJ S Oにお問い合わせください。新しいタイプのメッセージ、地域と密着したメッセージを皆で考えていきたいと思う。

J S O 林

## 日本G S M文書委員会からのお知らせ

### 個人の物語 題名募集

以前にもこの紙面をお借りしてお伝え致しましたが、ビッグブック後半に収録されている個人の物語は、非常に多くの仲間たちの共感を得て、現在の回復者を育てて参りましたが、やはり時代の流れと共に現在とは違った社会環境の部分なども多く、現在の仲間たちの経験を分かち合う新たな刊行物の発行が要望されており、それに応えて第一回日本G S Mで発行が承認され、着々と準備を進めて参りましたが、この度収録する原稿はすべて整い、発行に向けての具体的準備を進めております。原稿をお寄せ下さった仲間は、以前のように関東の仲間片寄る事なく全国それぞれの地域に散らばっております。

内容に関しましては皆様のご期待に十分応えられるものと自負しておりますが、私達が仮に「個人の物語集」と読んでこの本が、皆様により親しまれるために、この本の題名を公募致したいと思い、ここに提案致します。

参考までに申し上げますと、本はA5版で頁数は約150頁程になります。頒布価格は未定ですが、仲間の求め易い価格を目指しております。応募される方は葉書にてJ S O日本ゼネラルサービスオフィス内「個人の物語」編集委員会までお願い致します。一枚の葉書に何例お書き下さっても結構です。



上記、3種類のサービスマークを日本AA アルコホーリクス・アノニマスは、商標法改正に備え、発行する文書に積極的に使っています。各グループでも、案内状、議事録等にAAの文書であることを明確にするため、積極的に使用下さることをお願い致します。